

第1回 福岡市立中央児童会館に係る指定管理者選定・評価委員会 議事要旨

日 時： 令和7年5月26日（月） 13：30～14：40

場 所： 福岡市役所 15階 1502会議室

参加者： 委 員 5名

事務局3名（こども未来局こども政策部こども健全育成課長 他）

1 開会

2 自己紹介

3 委員長及び副委員長の選出

4 議題

（1）会議の公開・非公開について

事務局： 資料1説明

＜質疑応答なし＞

（2）募集及び選定のスケジュールについて

事務局： 資料2説明

委 員： 応募締切後、第2回選定委員会までの間に、事務局で書類の確認をするのか。

事務局： 事務局にて応募資格を満たしているかの確認を行う。

委 員： 提出書類に漏れがあった場合はどうするのか。

事務局： 全ての書類を応募締切までに不備がないよう揃えて提出いただく必要がある。

（3）募集要項等について

事務局： 資料3～5説明

委 員： どれくらいの数の応募がある見込みか。

事務局： わからない。参考までに前回5年前の選定時の状況をお伝えすると、1者の応募であった。

委 員： 現事業者が応募せず、応募が全くない場合はどうなるのか。

事務局： 応募がなかった原因を事務局で情報収集し、再公募に向けて検討を行うことになる。

委 員： 募集要項（案）の4頁の応募資格の中に、児童館の設置運営要項に定める基準として経済的基礎があることや社会的信望を有することとあるが、何かしらの基準があるのか。

事務局： 財務諸表による確認、暴力団該当の有無、競争入札参加資格停止措置の状況、類似施設の運営状況などを総合的に勘案し判断することとなる。

委 員： 中高生の居場所づくりの取組みを仕様に入れた経緯は。

事務局： 現在、現事業者がその他企画事業として中高生を対象としたあいくるカフェなどの取組みを行っているところであるが、こども家庭庁が策定した「こどもの居場所づくりの指針」等において自治体における役割について示されたこともを踏まえ、今回仕様書の業務として位置付けた。

委員： 中高生が主体的に何かしたいというような企画は大切だと思うが、どのように考えるか。自分の企画が通るという体験は中高生にとっては嬉しいと思う。

事務局： 福岡市では昨年度末第6次子ども総合計画を策定した。その中でも子どもや若者の意見を聞いて施策に反映させることを大切にしてきており、そういう子どもの声を反映できるような提案を期待したい。

5 その他（事務連絡）

6 閉会